

---

# ウルトラマンネクサス 序章 プロローグ

ゼロディアス

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ウルトラマンネクサス 序章 プロローグ

### 【Nコード】

N5100M

### 【作者名】

ゼロディアス

### 【あらすじ】

これはウルトラマンゼロ 白い魔法少女とセブンの息子のフェイトがネクサスになった時の話。

(前書き)

OPイメージ『英雄』

鳴海市

とあるマンションのある部屋

フェイト

「うーん……うーん……。」

一人の少女、フェイト・テストロッサがうなされていた。

翌日

フェイトが通ってる中学校

?

「ちゃ…………ん…………。」

なのは

「フェイトちゃん!」

フェイト

「え、あ何なのは?」

なのは

「どうしたの?ボーっとして?」

フェイト

「えっと、あのね最近同じ夢を見るんだ。」

なのは

「同じ夢?」

フェイト

「うん。」

なのは

「どんな夢なの?」

フェイト

「えっとね…………。」

フェイトはその夢について説明する。

その夜

そこは空がオレンジっぽく、森の様な場所にフェイトがいた。

フェイト

(またこの夢?)

プレシア

「フェイト……………」

フェイト

「母さん!? そんな、母さんはあの時……………」

あの時とは無印編最終回での出来事である。

プレシア

「ついて来て……………」

フェイト

「はい……………」

フェイトはプレシアについて行く。

するとフェイト達は遺跡の様な場所に来た。

フェイトとプレシアはその遺跡の中に入る。

すると中にはY字型の遺跡があった。

プレシア

「フェイト、それに触れてみなさい。」

フェイトはプレシアに言われた通り遺跡に触れる。

すると、電撃の様な物がフェイトを襲う！

フェイト

「あああああ！！？」

電撃が収まるとフェイトの手には銀色の物が握られていた。

フェイト

「はあ、はあ、これは？。」

プレシア

「フェイト、私は貴女に言う事があるの。」

フェイト

「え？。」

プレシア

「今まで、御免なさい……。私はあの時、本当は嬉しかったの。あんなに酷い事を言ったのにフェイトは私を母親だと言ってくれた。それが嬉しかった。だから、御免なさい……………」

フェイト

「良いんだよ、母さん……………」

プレシア

「フェイト、貴女がそれを手に入れたからには過酷な物が待ってるわ。でも決して諦めないで。」

フェイト

「うん……………」

遺跡の外

ガルベロス

「ギャオオオオオ!!」

場所は戻り



プレシア・フェイト

「「!?!」」

プレシア

「フェイト、あいつを此処に近づけちゃ駄目!?!お願い、フェイト、此処を守って!?!」

フェイト

「うん、守って見せるよ。」

フェイトは銀色の物、エボルトラスターの鞘を抜く!

フェイト

「うおおおおおおお!?!」

遺跡の外

ネクサスA

「シユア!?!」

ガルベロス

「ギャオオオオ!?!」

ネクサス

（これは、ウルトラマン?）

ネクサスはジュネツスブラックに変わり、メタフィールドを発動する！

ネクサスJBC

「ハアアア、ディアアアア！」

メタフィールド

ネクサス

「ディア！！！」

ネクサスはガルベロスに走り出し、ガルベロスを殴りつける！

ドゴオ！

ガルベロス

「ギャオオ！！？」

ガルベロスは炎を放つがネクサスはその速さを生かし、回避して風を拳に纏わせてソニックパンチを繰り出す！

ドガアアアン！！

ガルベロス

「ギャオオオオ！！？」

ガルベロスはジャンプしてネクサスの後ろに回り込み、炎を放つ！

ドガアン！！

ネクサス

「ディア！？」

ネクサスは膝を突くがすぐに立ち上がる！

ネクサス

「ディアーーーー！！」

ネクサスはガルベロスに走って行く。

ガルベロスは炎を放つがネクサスに当たらず、ネクサスは連続キックをガルベロスに決める！

ガルベロス

「ギャオオオオオ！！？」

ネクサスはガルベロスと距離を取ると必殺のオーバーレイ・ソニックをガルベロスに放った！

ドガアアアアン！！

ガルベロスに直撃して爆発した。

ネクサス

「はあ、はあ、やったよ母さん……………」

するとプレシアの声が聞こえる……。

プレシア

「フェイト……、貴女のその力は受け継がれる光よ……」

ネクサス

「母さん！」

フェイト

「母さん!」

フェイトが気付くとそこは自分のベッドの上だった。

フェイトは自分の右手を見るとエボルトラスターが握られていた。

そして左手にはブラストショットが握られている。

フェイト

「受け継がれる、光……。」

フェイトはエボルトラスターを見ながらそう言った。

(後書き)

E D イメージ 『いつも心に太陽を』

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5100m/>

---

ウルトラマンネクサス 序章 プロローグ

2011年10月6日22時25分発行